

外為短観レビュー 4-6月米ドル/円予想DIダイジェスト

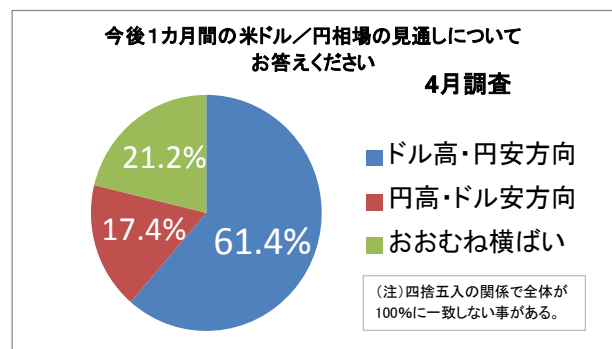
はじめに

当研究所が月に一度公表する「外為短観」では、各通貨ペアの見通しについてのアンケートに「外貨高・円安」と答えた投資家の割合から「円高・外貨安」と答えた割合を引いた数字を「予想DI」として発表している。「予想DI」は±0を各通貨ペアに対する強気・弱気の分岐点としてFX投資家の相場観を指数化したものである(プラス幅が大きいほど強気度合いが高く、マイナス幅が大きいほど弱気度合いが高いと考えられる)。今号では、4-6月期における米ドル/円予想DIの推移について振り返ってみたい。

4月DI: 米ドル強気を維持

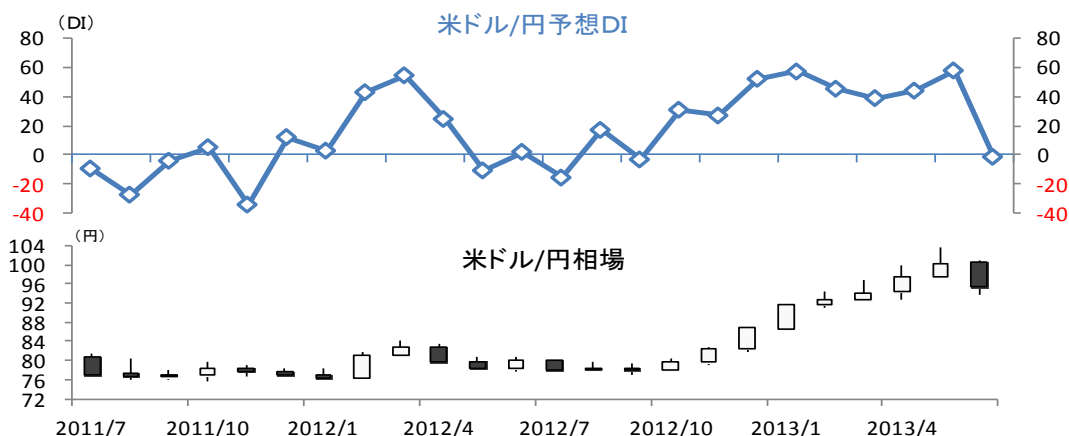
今後1か月間の米ドル/円相場の見通しについて「米ドル高・円安方向」と答えた割合が61.4%であったのに対し、「円高・米ドル安方向」と答えた割合は17.4%となった。この結果「米ドル/円予想

DI」は+44.0%ポイントとなり、前月(+38.9%ポイント)からプラス幅がやや拡大し、7カ月連続でプラスを維持した。



4月の米ドル円相場: 100円乗せに失敗

日銀が4日に、市場予想を上回るスケールの「質的・量的緩和」を発表した事を受けて、円の先安感が急速に意識され、米ドル/円は上昇した。しかし、100円付近の売りが厚かった上、米国の量的緩和(QE)の早期縮小・停止観測がやや後退したことからドル買いが入りにくく、11日、22

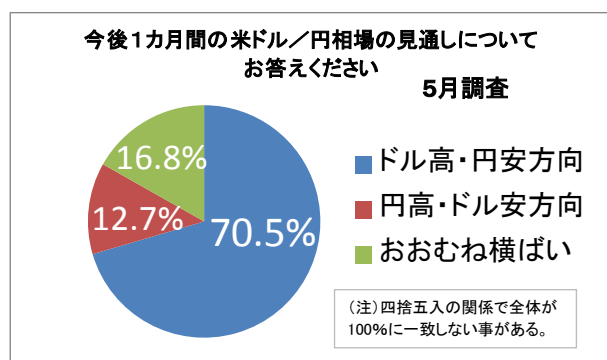


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

日、24日と3度100円突破を試したが失敗した格好となった。

5月DI: 過去最高の米ドル強気

「米ドル高・円安方向」と答えた割合が70.5%であったのに対し、「円高・米ドル安方向」と答えた割合は12.7%となった。この結果「米ドル/円予想DI」は+57.8%ポイントとなり、前月(+44.0%ポイント)からプラス幅が大幅に拡大し、8カ月連続で米ドル強気・円弱気を維持。なお、プラス幅としては過去最大を記録した。



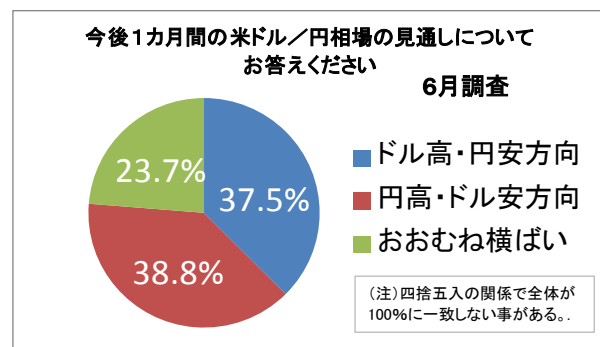
5月の米ドル/円相場: 4年半ぶり高値示現も

月初から中旬にかけては、米国の経済指標に良好な結果が目立った上、米要人の発言内容についても、比較的ハト派と思われていたFOMCメンバーに早期のQE縮小に理解を示す発言をする向きが増えた事から、米ドル高が進行。9日に100円を突破し、22日には103.73円まで上値を伸ばした。ただ、23日以降、日経平均株価が大きく

値を崩すと、相場のムードが一変。株価のボラティリティが上がる中で米ドル/円もそれを見ながら激しく上下動した。日経平均が乱高下しつつ月末にかけて下落基調を強めた事から、米ドル/円も中旬までの上げ幅を大きく縮小する展開となった。

6月DI: 一転してドル弱気へ

「米ドル高・円安方向」と答えた割合が37.5%であったのに対し、「円高・米ドル安方向」と答えた割合は38.8%となった。この結果「米ドル/円予想DI」は▲1.3ポイントとなり、過去最大のプラス幅を記録した前月(+57.8%ポイント)から一転してマイナスとなり、昨年9月の第40回調査以来9カ月ぶりに円強気・米ドル弱気予想が優勢となった。



6月の米ドル/円相場: 下落後に持ち直しへ

7日の米5月雇用統計を筆頭に、雇用関連指標に良好な結果が目立ったことから、「比較的早期に米国の量的緩和(QE)の規模縮小が決定さ

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

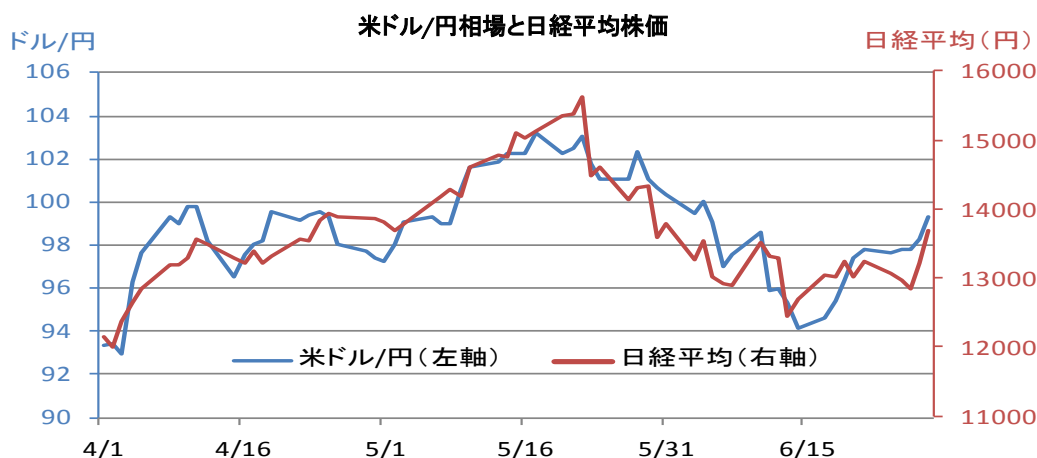
Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

れる」、との思惑が広がったが、その一方で、米QE縮小観測が世界的に株価を押し下げることになったため、米ドル高以上に円高が進む格好となった。月初に100円台で推移していた米ドル/円は、13日には一時93円台まで値を下げて約2ヶ月ぶりの安値を示現。しかし、後半に入ると、そうした混乱が徐々に収まり、日米欧を中心に株価が反発。リスク回避の円買い圧力が後退する中、FOMC声明発表後のバーナンキFRB議長の記者会見やその後の要人発言などによってQE縮小観測が一段と強まると、米ドル高が主導する形で99円台まで値を戻した。

4-6月の米ドル/円は日経平均に連動

4-6月の「米ドル/円予想DI」に関する最大のトピックは、5月に記録した過去最大の米ドル強気予想から一転して6月には弱気を示すマイナスDIとなった事であろう。5月23日に15900円台まで上

昇していた日経平均株価が突如として値崩れを起こし、6月13日に12400円台を付けるまで調整は約3週間も続いた。株価と歩調を合わせるように米ドル/円も103.73円から93.79円までほぼ10円の下落幅となっており、「アベノミクス」というテーマに沿って、日本株買いと、(ヘッジ目的も含めて)円売りを進めてきた投資家のポジションが急激に巻き戻された格好だ。6月末が半期決算期末にあたる海外勢がポジション調整を急いだとする解釈も事後的には可能であろう。いずれにしても「これ」と特定できる原因が見当たらない中での相場急変に肝を冷やしたFX投資家は、見通しの大幅な修正を迫られたようだ。もっとも、相場見通しは急激に弱気に傾きつつも、パニック的な米ドル売り・円買いに動いたFX投資家が少なかった点は興味深い。5月後半から6月前半にかけての相場急変に、FX投資家が比較的冷静であった事が次項のデータから覗える。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

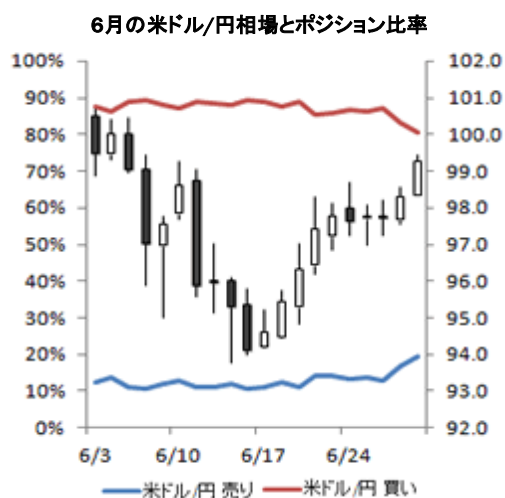
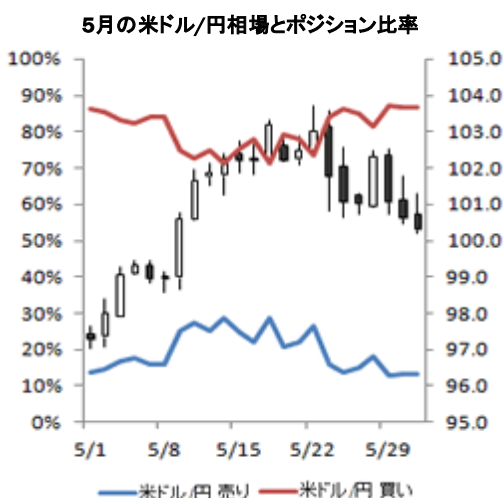
Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

6月ポジション比率はほぼ横ばい

下の図は、米ドル/円相場の日足チャートとポジション比率(外為どっとコム顧客のNYクローズ時点における買い持ち残高と売り持ち残高の比率)を重ねたものだが、米ドル/円相場が103.73円の高値を付けた5月23日前後に買い持ち比率が70%近くまで低下している事がわかる。その後、5月末にかけての下落局面で、買い持ち比率は90%近くまで上昇。6月に入り、相場が一時93.79円まで下落したにもかかわらず、ポジション比率に目立った変化はなく、買い持ち比率は90%前後で高止まりしている。相場の上昇とともに見通しが過去最大の米ドル強気に傾いた5月でも利益確定と見られる米ドル売り・円買いを優先させた一方、相場の下落と同時に見通しが急激に悪化した6月には、米ドル売り・円買いを活発化させる事はなかったようだ。

相場観よりも値ごろ感？

ポジション比率の推移から見て、予想DIが示すFX投資家の相場見通しと実際の投資行動が必ずしも一致しない様子が浮き彫りになった格好であり、大規模かつ急激な相場変動の中にあっても「高値は買わず、安値は売らず」という冷静な姿勢を維持していた事がわかる。FX投資家の相場観は、相場環境などの外部要因に左右されやすいものの、「逆張りスタンス」を好むという投資スタイルは、こうした要因による影響を受けにくいようだ。敢えて別の表現を用いるならば、「相場観」よりも「値ごろ感」が投資行動を左右するケースが多いと言う事になろう。(了)



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com